

大沼地域自然再生モデル事業 吉野山国有林整備方針（案）

1 駒ヶ岳・大沼の自然の概要

駒ヶ岳・大沼地域は北海道南西部の渡島半島中央部に位置し、活火山である駒ヶ岳と、噴火によってできた大沼、小沼、葦菜(じゅんさい)沼のほか大小たくさんの沼が存在している。駒ヶ岳周辺の森林は、ミズナラやブナなどを主体とする広葉樹林や、トドマツ、カラムツの人工林が広がる。これらの森林には、キツツキ類やカラ類などの野鳥をはじめ、ヒグマやエゾシカなどの大型ほ乳類、キタキツネやエゾタヌキなどの中型ほ乳類やシマリスを代表とする小型ほ乳類など多様な動物の生息が確認されている。

2 地域社会が求める課題

駒ヶ岳・大沼地域は、自然環境が豊かで景観が優れていることから大沼国定公園に指定されており、この国定公園を取り巻くように国有林が所在している。この地域では、漁業関係者から水質保全を、観光関係者から景観の維持向上を、また自然保護関係者から野生鳥獣の生息環境の維持向上を強く求められるなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっている。

このことから、吉野山国有林において大沼地域自然再生モデル事業を実施し、持続的な景観保全と水土保全、生物多様性保全との観点から、土地本来の生物群集によって構成される環境を生み出す自然のプロセスを重視し、自然再生、野生動物の生息環境保全、森林環境教育の場としての利用などを含めた森林生態系管理を行う。

3 自然再生の方向

大沼地域自然再生モデル事業の「多様性のある森林への再生」対象地として整備する地域は、吉野山国有林2133林班い小班、ろ小班、る小班、わ小班、た小班である。これらの森林は、人工林として整備された区域で、ドイトウヒ、トドマツ、カラマツが植栽されている。

「多様性のある森林への再生」対象地の概況

林小班	面積	樹種	植栽年度	ha蓄積	制限林としての取扱
2133い	9.89ha	ドイトウヒ	T14	329m ³	水源涵養保安林、鳥獣保護区(普通)、国定公園(特3)
2133ろ	7.99ha	カラマツ	S27	205m ³	水源涵養保安林、鳥獣保護区(普通)、国定公園(特3)
2133る	1.00ha	トドマツ	S58	184m ³	水源涵養保安林、鳥獣保護区(普通)、国定公園(特3)
2133わ	3.61ha	トドマツ	S57	146m ³	水源涵養保安林、鳥獣保護区(普通)、国定公園(特3)
2133た	0.41ha	トドマツ	S56	98m ³	水源涵養保安林、鳥獣保護区(普通)、国定公園(特3)
計	22.90ha				

注) ha蓄積は、平成23年度樹立の森林調査簿によるもので、天然広葉樹の蓄積を含む。

「多様性のある森林への再生」対象地では、広葉樹を主体とした森林に再生するためのモデルとして自然再生を実施する。実施に当たっては、景観を維持しつつ、水質汚濁防止に配慮し、生物多様性の保全を考慮しながら、地域住民やボランティア団体等との連携による取組を進める。

なお、この区域のほとんどは植栽による針葉樹で構成された人工林である。これらの森林については、景観や今ある生態系への配慮から、間伐等の実施により緩やかに広葉樹林化を進め、これにより多様性のある森林への誘導を図る。

このことから、目標とする森林は周辺の天然林を参考とした広葉樹林とするが、当面は針広混交林への推移を図ることとする。

4 これまでの取組

- ・大正14年度にドイツトウヒを植栽（14.91ha）。
- ・昭和27年度にカラマツを植栽（7.99ha）。
- ・ドイツトウヒを一部伐採し、昭和56～58年度にトドマツを植栽（5.02ha）。
- ・平成16年度、駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンターが発足。吉野山国有林のドイツトウヒとトドマツを対象に、ボランティア等とともに自然再生を実施することとした。この年以降、トドマツ林において、継続的に間伐及び除伐Ⅱ類による劣勢木除去を実施。
- ・平成17年度にドイツトウヒ林の一部（3.26ha）で伐採率50%の複層伐を実施。
- ・平成18年度、大沼地域自然再生等モデル事業のグランドデザインを作成。
- ・平成20年度、モデル事業にカラマツ植栽区域（7.99ha）を含めた。

樹種・面積	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37~	
ドイツウヒ 9.89ha	1.19ha		主伐	下刈										経過観察(状況により、つる切り作業などを実行)										
	2.07ha		残置	経過観察										危険木処理(請負により実施)										
	3.00ha												主伐	下刈					経過観察					
	3.63ha												危険木処理(請負により実施)											
カラマツ 7.99ha	7.99ha									間伐		広	葉	樹	植	込					間伐			
トドマツ 5.02ha	る 1.00ha		除伐Ⅱ類										間伐											主伐
	わ 3.61ha			除伐Ⅱ類(ボランティアによる)										※	間伐									主伐
	た 0.41ha		除伐Ⅱ類										間伐											主伐

※除伐Ⅱ類(請負により実施)

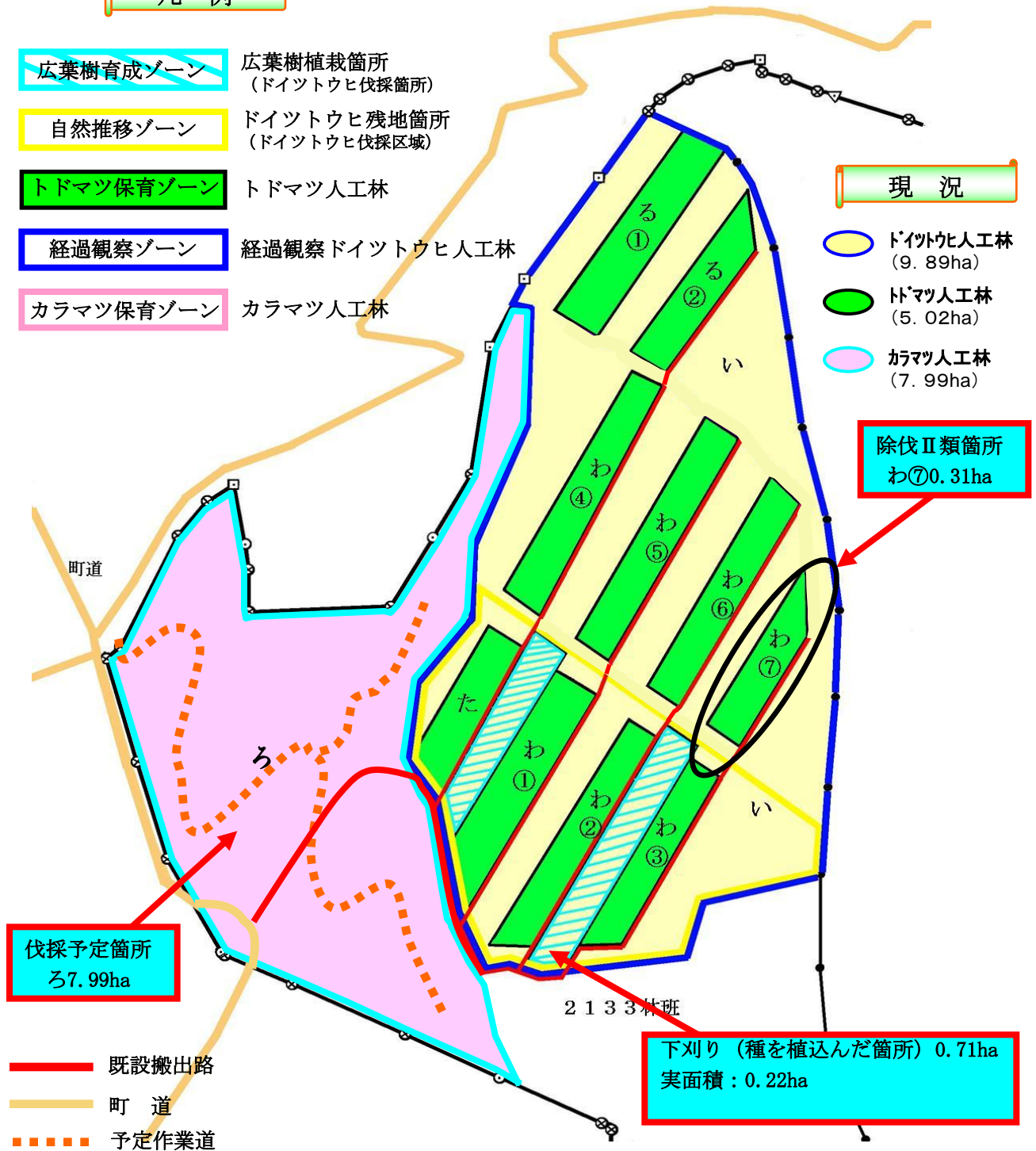
多様性のある森林への再生 事業予定 (H25)

凡 例

- 広葉樹育成ゾーン 広葉樹植栽箇所
(ドイツトウヒ伐採箇所)
- 自然推移ゾーン ドイツトウヒ残地箇所
(ドイツトウヒ伐採区域)
- トドマツ保育ゾーン トドマツ人工林
- 経過観察ゾーン 経過観察ドイツトウヒ人工林
- カラマツ保育ゾーン カラマツ人工林

現 況

- ドイツトウヒ人工林
(9.89ha)
- トドマツ人工林
(5.02ha)
- カラマツ人工林
(7.99ha)



平成25年度大沼地域自然再生等モデル事業における主な取組内容（案）

開催月日	曜日	行事名	開催場所	行事内容等	参加人員等	備考
5月27日	月	・大沼自然豊かな森づくり協議会総会	・北海道大沼婦人会館	・平成25年度モデル事業に係るボランティア活動実施計画の策定	・20名程度	
6月2日	日	・第1回樹木博士認定会	・西大沼常設コース	・一般市民等を対象とした樹木博士認定会（函館市生涯学習講座の一環）	・30名程度	
7月7日	日	・第2回樹木博士認定会	・西大沼常設コース	・一般市民等を対象とした樹木博士認定会（函館市生涯学習講座の一環）	・30名程度	
7月中旬		・育樹の集い（下刈等）	・吉野山国有林（多様性のある森林への再生対象地）	・ミズナラ植栽箇所において、下刈等	・50名程度 一般公募	
（未）		・国際ワークキャンプ（中長期）	・吉野山国有林外	・森林ワーク（除伐Ⅱ類・下刈等）を実施した森林環境学習	・4～5名程度	
8月4日	日	・第3回樹木博士認定会	・西大沼常設コース	・一般市民等を対象とした樹木博士認定会（函館市生涯学習講座の一環）	・30名程度	
（未）		・国際ワークキャンプ	・吉野山国有林外	・森林ワーク（除伐Ⅱ類・下刈等）を実施した森林環境学習	・20名程度	
9月8日	日	・第4回樹木博士認定会	・西大沼常設コース	・一般市民等を対象とした樹木博士認定会（函館市生涯学習講座の一環）	・30名程度	
11月上旬		・育樹の集い（除伐Ⅱ類等）	・吉野山国有林（多様性のある森林への再生対象地）	・多様性のある森林への再生対象地において、除伐Ⅱ類等	・50名程度 一般公募	
<p>・3月 大沼地域自然再生検討委員会の開催予定</p>						